

3年進路だより

No.1 新東淀中学校 2016.4.11

新3年生・新たな気持ちで

新3年生のみなさん、進級おめでとうございます。新しいクラスで勉強に、修学旅行や体育大会や文化発表会などの行事に、クラブ活動に、新たな気持ちでがんばろうと張り切っていると思います。そして中学校3年生は義務教育の最終学年です。ちょうど1年後には、中学校を卒業して新たな生活を始めることになります。

進路決定の取り組みは始まっている

この1年間をかけて取り組むことが進路決定です。高校進学にしても就職にしても、希望の進路に進むためには「試験」という関門を通らなければなりません。そしてみなさんにぜひ自覚してもらいたいことがあります。進路決定の取り組みは始まっている、ということです。ここでは高校進学について述べます。

その1 希望の進路を獲得するために

高校進学については、義務教育の小中学校のように自動的に高校生になれるわけではありません。高校の定員を越えて入学を希望する人がいれば、入学試験の成績上位の人の中から定員以内の人数が合格となります。たとえば、定員200人の学校で250人が受験すれば、50人は不合格となり入学できないのです。

すべての人が希望する高校に入学できるようになってほしいのですが、そのためには一人ひとりが入学試験に合格できる学力を身に付けなければなりません。

その2 どの高校に進学するか

大阪府下には公立と私立の高校を合わせて200を超える高校があります。実際、本校をこの3月に卒業した39期生のみなさんの進学先は70校以上にのぼります。それだけに、卒業後の進路（大学への進学や就職など）もよく考えて自分にとって一番合った高校を選ぶ必要があります。中学校でもできる限りの情報を提供しますが、高校の体験入学・説明会が行われるので受験を希望する学校にはぜひ行きましょう。（詳しい日程や申し込み方法は順次お知らせします。）

その3 高校受験について

高等学校は大きく分けて公立高校（大阪府立・大阪市立）と私立高校があります。入試の主な日程は以下の通りです。

★私立高校 2月10、11日（例年の日程。正式な発表は後日にあります）

★公立高校・特別選抜入試 2月20（月）～21日（火） ※音楽科などは別日程

※工業（主にデザイン）関係、美術科、体育関係、芸能文化科、演劇科、総合造形科、総合学科（エパワメントスクール）、デュアル総合学科、多部制単位制I部・II部、昼夜間単位制など

★公立高校・一般選抜入試 3月9日(木)

※通信制などは別日程

※普通科、商業科、農業科、工業に関する学科、情報科学科、グローバル科、国語科、理数科、総合学科、サイエンス創造科、文理学科、福祉ボランティア科、食物文化科、総合学科(クリエイティブスクール)など

その4 専願と併願の違い

私立高校の入試には専願と併願があります。専願は合格したら必ずその私立高校に入学します。ふつう入試の合格点の基準が少し低くなります。併願は合格しても入学する義務はありません。あとで受験する公立高校を第一志望として、そこが不合格だった時の「すべり止め」として受けることが多いです。公立高校の入試は合格したら必ずその学校に入学しなければなりません。

公立高校の入試の仕組み

その1 特別選抜と一般選抜の入試

特別選抜入試(2月)では、受験科目は国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。それに調査書と自己申告書を加え、実技検査や面接を実施する学科があります。

一般選抜入試(3月)では、受験科目が国語、社会、数学、理科、英語の5教科です。それに調査書と自己申告書を加えて入試の成績を決めます。

その2 公立高入試の調査書の評価

入試では調査書(いわゆる内申書)の9教科(国、社、数、理、英、音、美、技・家、保体)の5段階の評価を点数化したものと学力検査(入試)の点数を合計します。

今年の3年生のみなさんの場合は、2年生の評定と3年生の評定を1:3の割合で合計して調査書の評定を5段階で出します。

ここでは一般入試の標準的な例をあげます。調査書の9教科の評定の合計×10(450点満点)と学力検査(入試)の点数5教科(国、社、数、理、英)各90点で合計450点となり、その合計900点満点で得点の高い人から合格となります。(合計点の中の評定の割合と学力検査の割合は5:5や4:6など、学校によって違います)

ボーダーライン(定員の90%から110%)に入った人は調査書と自己申告書の内容が合否判定に加味されます。

さらに、6月には大阪府の「チャレンジテスト」、10月には「大阪市統一テスト」が行われ、調査書の評定に影響してきます。詳しくは今後資料も出して説明していきます。

今からなら間に合う

いずれにしても、みなさんの高校進学は今からの勉強で決まります。まず何よりも普段の授業と勉強が大事です。授業中の態度や提出物なども成績に入り、調査書にも反映することになります。そして入試問題は中学校1年生からの勉強の内容がすべて範囲です。1, 2年の総復習が必要です。こうしたことの総合力が進路を獲得する力となります。入試本番まで1年、今から始めれば間に合います。みんなでがんばりましょう。